

教員の民間企業研修を開催

～小・中・高等学校の教員が損害保険リテラシーとハザードマップの重要性を学ぶ～

日本損害保険協会（会長：城田 宏明）は、一般財団法人経済広報センターと連携して、「教員の民間企業研修」を2024年8月21日（水）に損保会館で開催し、東京都内の小・中・高等学校から41名の先生方が参加しました。

本研修は、学校の教員が企業の事業活動に対する考え方や実務内容、取組みなどについて理解を深め、その体験を子どもたちへの教育や学校運営などに活かしてもらうことを目的に、2018年度から開催しています。

研修では、当協会や損害保険業界の概要、損害保険の仕組み・役割・必要性などの基礎知識に関する講義と、自転車事故への備えに関する動画を視聴してもらい、損害保険リテラシーの理解を深めてもらいました。

また、昨今の自然災害の激甚化・頻発化を踏まえ、学校での防災授業で実践できるように、一般財団法人河川情報センターの鮎川一史 上席参事を講師に、ハザードマップを活用した小・中学生向け「逃げキッド」を使い、マイ・タイムライン（避難行動計画）を作成するワークショップを行いました。

<研修の概要>

第1部「損害保険リテラシーを学ぶ」

【講師：山本真史（業務企画部啓発・教育・防災グループシニアアドバイザー）】

- ・日本損害保険協会・損害保険業界の概要説明、損害保険の基礎知識に関する講義
- ・動画「自転車を取り巻くリスクとその責任」の視聴

第2部「ハザードマップを活用した教育プログラムを体験する」ワークショップ

【講師：鮎川一史（一般財団法人河川情報センター上席参事）】

<先生方から寄せられた感想>

- ・不確定なリスクに備える保険は、リスクマネジメントという観点で、子どもたちの安心・安全な環境を作る教員の業務にも活かせると思った。
- ・保険は生涯関わってくることなので、小さい頃から段階的に学ぶ機会を作ることが大切だと思った。
- ・保険の目的や中身をしっかり理解して、自分に必要な保険を取捨選択する必要があることを学んだ。
- ・学校で自転車の運転ルールや安全運転の指導はしているが、事故を起こした時の賠償責任などについても指導していきたい。
- ・保険やハザードマップを自分ごととして学ぶことができた。マイ・タイムラインを子どもや保護者に配付する際に、しっかり説明していきたい。
- ・ワークショップで体験したマイ・タイムラインを水害について学ぶ授業で子どもたちに教えたい。
- ・洪水時の避難行動の手順等、先を見通して行動することの大切さを防災教育に役立てていきたい。

当協会では引き続き、教育関係者等に有益な情報を提供し、損害保険リテラシーの向上に努めます。



挨拶（田中グループリーダー）



講義の様子（山本職員）



ワークショップの様子（鮎川氏）